令和3年度　福島県立聴覚支援学校平校学校評価アンケートまとめ

保護者：回答数10（回答率100%）
教職員：回答数11（回答率100%）

A（＋2）：そう思う
B（＋1）：どちらかといえば「そう思う」
C（－1）：どちらかといえば「そうは思わない」
D（－2）：そう思わない

		今年度の取組	評価者	評価 A	B	C	D	評価点	ご意見等（〇保護者　■教職員）
Ⅰ―1 自立と社会参加に向けた指導の充実	1	人とかかわり合うためのコミュニケーション能力を育成するために、「ことばノート」「絵日記」などの教材を工夫し指導を充実させます。	保護者	6	4	0	0	1.6	〇絵日記は自ら見返してみたり、写真も貼ってあるので、思い出の振り返りにも役立っている。 ■自分の経験や思いを書き綴ることで振り返ることができた。継続して取り組むことで表現力がついてきた。
			教職員	2	8	1	0	1.0	
	2	保護者及び関係機関との連携の際には、必ず「個別の教育支援計画」を活用し、指導支援の経過や合理的配慮を確認し、切れ目のない指導・支援をします。	保護者	7	3	0	0	1.7	
			教職員	5	6	0	0	1.5	
	3	交流及び共同学習においては、交流校及び交流保育園と「個別の教育支援計画」を用いて合理的配慮を確認し、共通理解のもと指導にあたります。	保護者	6	4	0	0	1.6	〇あさひ保育園との交流では、集団ならではの遊びを楽しんだり、活動を通して声をかけてくれるお友達もいるようで、本人にとってよい刺激になっている。 ■年3回の絹谷分校との交流会を実施したことでより深い交流ができた。 ■学年が上がることで交流相手校の授業内容と平校児童の実態の差が大きくなる。交流校の選択もあればよいと思う。
			教職員	4	7	0	0	1.4	
	4	4 多くの本とふれ合う機会を積極的に設け、読書に親しみ、書いて表現する力の育成に努めます。	保護者	6	3	1	0	1.4	〇絵本は目と耳からの情報獲得に大いに役立っていると思う。 ■教科学習に関連した図書の購入があり、子どもたちも興味をもって手に取っていた。 ■「自立と社会参加に向けて」と「読書に親しむ」「書いて表現する力」との関係は？キャリア発達や自己形成（障がい認識）のための指導の充実の方が大事なのではないか。
			教職員	3	6	2	0	0.9	
Ⅰ―2 主体的に思考する力と豊かな心の育成	1	「漢字力テスト」「算数テスト」「読字力検定試験」などに挑戦する機会を設け、主体的に学習に取り組む力を育成します。	保護者	6	3	1	0	1.4	〇好きだったり、得意な分野を積極的に取り入れてもらっていると思う。 ■読字力検定試験について試験方法を実際の試験のように設定したことで、適正に実施することができた。 ■「漢字力テスト」「算数力テスト」は平校独自のテストであるため、見直し、検討が必要。
			教職員	3	8	0	0	1.3	
	2	積極的に移動図書館と連携し、読書活動を推進し、豊かな心を育てます。	保護者	5	4	1	0	1.3	
			教職員	3	7	1	0	1.1	
	3	体験的活動を積極的に取り入れ、体験したことを「話す」「書く」「聞く」「読む」等のことばの学習をとおして、幼児児童が自ら考え、行動できるような主体性や意欲を育成します。	保護者	7	2	1	0	1.5	■「ことば」＝「日本語」と考えてよいと思う。手話という手段も入れてほしい。 ■重複障がいの幼児においては、「話す」「書く」「聞く」「読む」という活動は難しかった。
			教職員	2	7	2	0	0.8	

		今年度の取組	評価者	評価 A	B	C	D	評価点	ご意見等（〇保護者　■教職員）
Ⅰ―3 一人一人の実態を踏まえた言語力の育成	1	教員は聴覚活用や多様なコミュニケーション能力の向上を図るため、専門研修や実技研修を行い、全職員が専門性の向上を図ります。	保護者	7	2	1	0	1.5	■校内研修がグループになったことにより、研究授業等が進めやすくなった。
			教職員	4	7	0	0	1.4	
	2	聴覚補償や情報保障機器、手話や指文字の適切な活用ができるよう教員の研修を行います。	保護者	7	2	1	0	1.5	■毎週木曜日の自立の時間に「日本手話」を取り入れ実施した。その結果、子ども同士の手話でのやりとりが増えてきた。
			教職員	2	7	2	0	0.8	
	3	外部の専門家を招聘し、教員自ら課題意識を持って授業研究会を実施し、授業力の向上を目指します。	保護者	6	3	1	0	1.4	■研修部を中心に教員同士が学び合う研究会等を適時行うことができてよかった。今後も続けてほしい。
			教職員	4	7	0	0	1.4	
Ⅱ 安全で安心な学校づくり	1	毎月安全点検等を実施し、幼児児童の安全と安心の確保に努めるとともに、個人情報及び情報セキュリティの管理を徹底します。	保護者	6	3	1	0	1.4	
			教職員	8	3	0	0	1.7	
	2	食育の推進と安全で楽しい学校給食の充実を図ります。	保護者	8	2	0	0	1.8	
			教職員	8	2	1	0	1.5	
	3	特別活動や道徳教育において、いじめに対する指導を行い、また家庭と強く連携をとりながら、教職員が組織として予防的な対応を心がけます。	保護者	6	2	2	0	1.2	〇学校生活の中で、今までなかった行動が出てきているので心配である。
			教職員	5	6	0	0	1.5	
	4	防災・防災教育や放射線教育の充実を図るとともに、新型コロナウイルス感染症などの感染症予防対策に努めます。	保護者	8	1	1	0	1.6	
			教職員	8	3	0	0	1.7	

		今年度の取組	評価者	評価					ご意見等（〇保護者　■教職員）
				A	B	C	D	評価点	
Ⅲ　センター的機能の充実	1	地域の関係機関や保健師等と連携し、0歳からの乳幼児教育相談を行います。	保護者	7	3	0	0	1.7	〇未就学のうちから親子で通所、相談できる場が充実しているのはありがたいと思う。 ■通常学級に在籍している難聴児やその担任、保護者への支援がもっと広がるとよいのでは。
			教職員	6	5	0	0	1.5	
	2	教育事務所や市町村教育委員会、近隣の特別支援学校と連携し、幼稚園や保育所、学校等に在籍する聴覚障がいのある子どもへの支援を行います。	保護者	6	4	0	0	1.6	
			教職員	6	5	0	0	1.5	
	3	地域における聴覚障がい教育の専門機関として学習会や研修会を開催し地域に発信します。	保護者	6	4	0	0	1.6	
			教職員	4	7	0	0	1.4	